

土壌用・コンクリート用・地上用

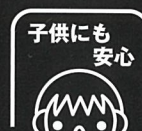
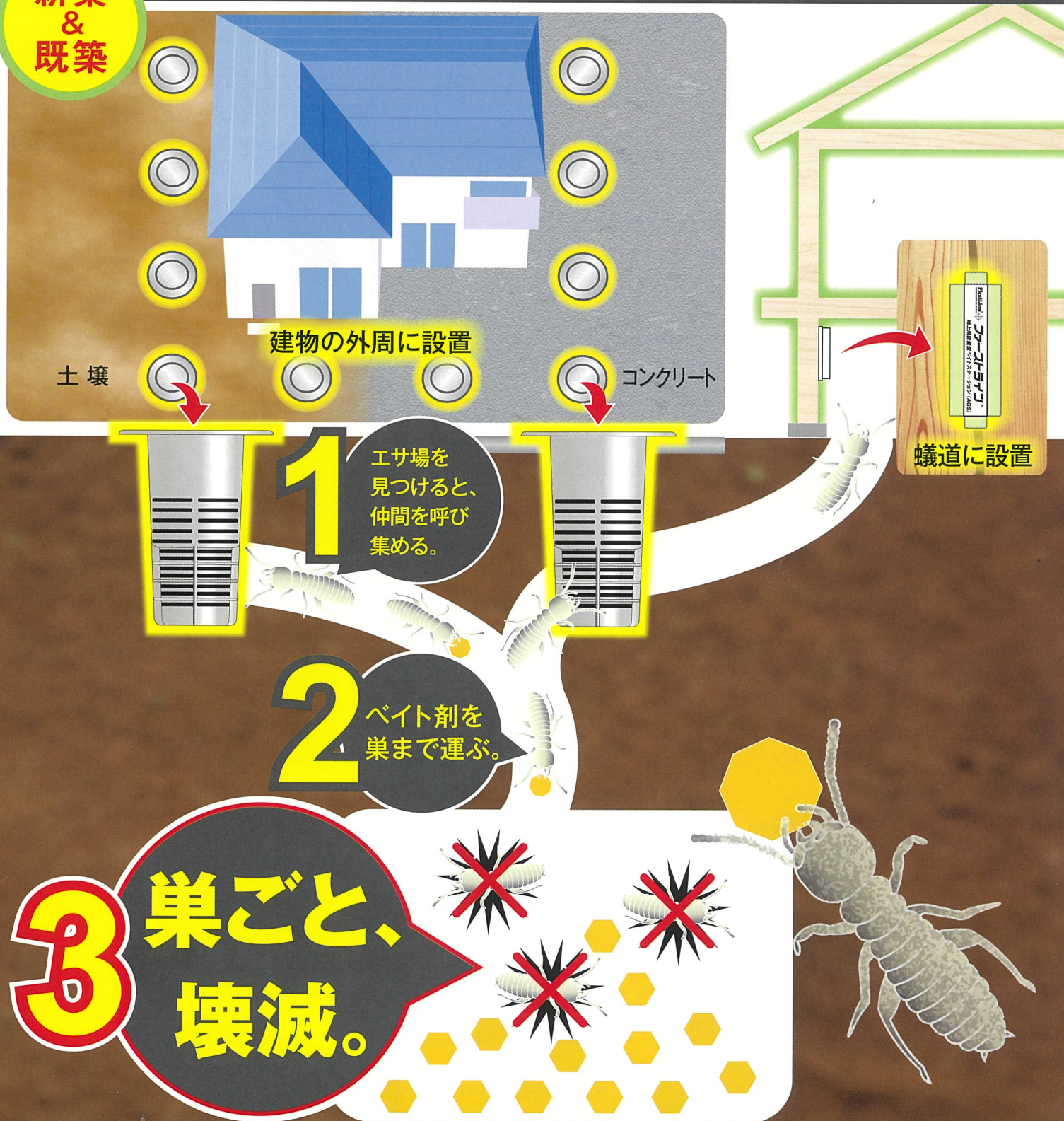
シロアリ防除システム

ベイト工法

FirstLine[®]
TERMITE DEFENSE SYSTEM

ファーストライン[®]シリーズ

新築
&
既築



FMC

®は登録商標です。

ファーストライン[®]シリーズ



**ファーストラインは
シロアリの習性を利用して防除する
ベイトシステムです。**

シロアリは良い餌場を見つけると仲間を呼び集め、巣に持ち帰る習性を持っています。

ファーストラインはこの習性を利用し、ベイト剤を巣まで運ばせ、巣全体に広がることにより、巣ごと壊滅させます。

製品ラインアップ

○ ディフェンダーⅡ

【設置】 土壌、コンクリート、アスファルト

○ 地上設置型ベイトステーション

【設置】 土台、天井、屋外 等

特 徴

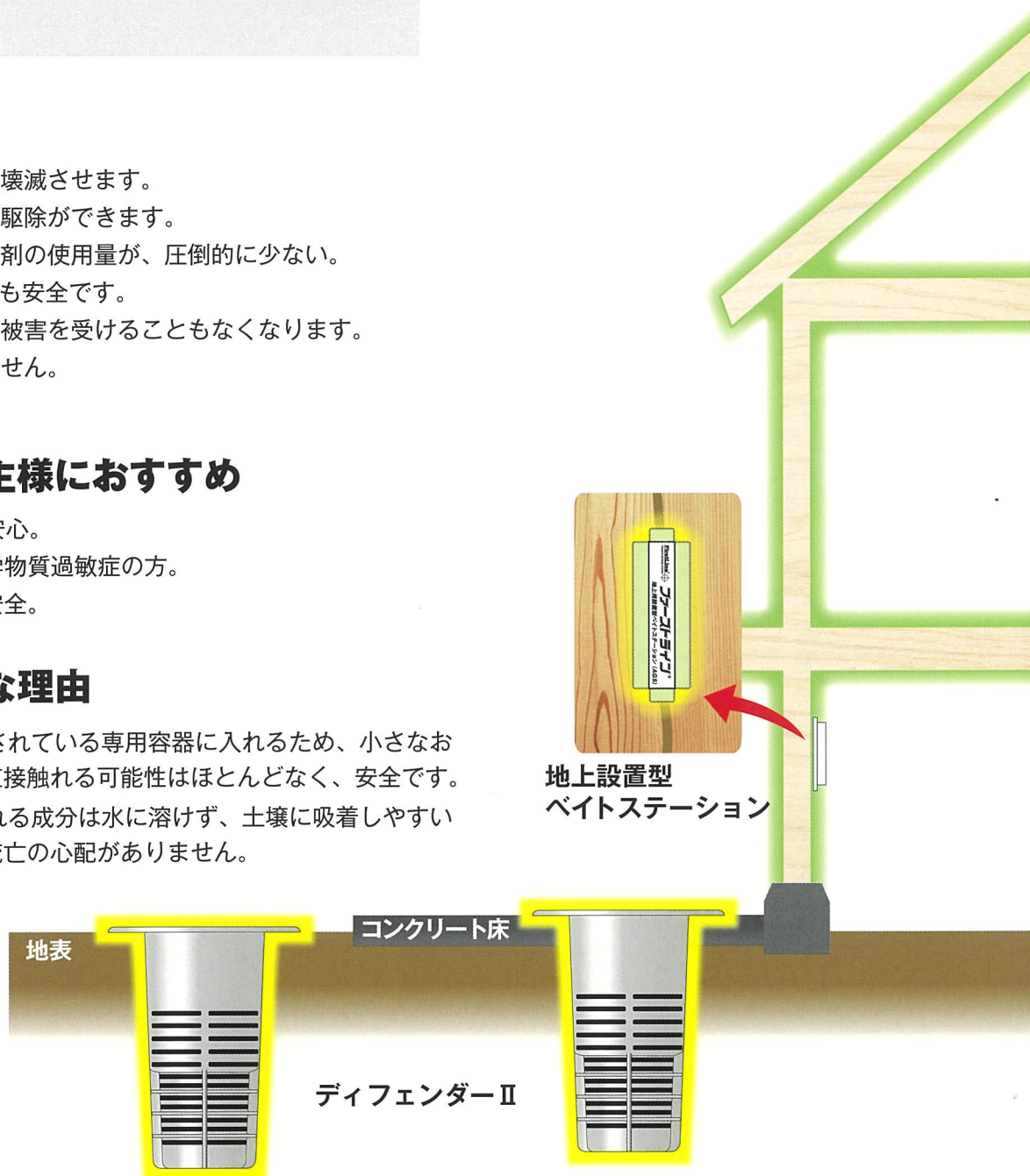
- ｜ シロアリを巣から壊滅させます。
- ｜ 薬剤散布をせずに駆除ができます。
- ｜ 薬剤散布よりも薬剤の使用量が、圧倒的に少ない。
- ｜ お子様やペットにも安全です。
- ｜ 庭木がシロアリの被害を受けることもなくなります。
- ｜ 異臭が全くありません。
- ｜ 環境にやさしい。

こんな施工主様におすすめ

- お子様がいても安心。
- アレルギーや化学物質過敏症の方。
- ペットがいても安全。

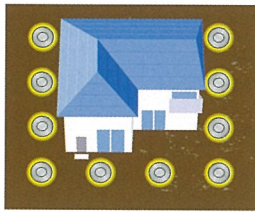
安全・安心な理由

1. 地上部分は密閉されている専用容器に入れるため、小さなお子様やペットが直接触れる可能性はほとんどなく、安全です。
2. ベイト剤に含まれる成分は水に溶けず、土壌に吸着しやすい性質で周辺への流亡の心配がありません。



防除システムの流れ

1) 事前調査



水周りなどシロアリが活動しやすい場所に重点的に設置します。効果的な防除のためにステーションを3m(最大5m)間隔で建物を囲むように設置します。建物の基礎や犬走りにできるだけ近い箇所に設置してください。水のたまりやすい箇所、雨滴線の直下等は避けてください。

2) ステーションの設置

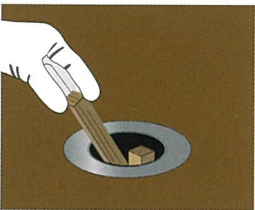


シロアリの生息状況などを調査し、餌木の入ったステーションを設置します。

設置後、施主様へ以下をご案内ください。

- ・ステーションを開けたり、刺激を与えたりしないこと。
- ・ステーションの設置個所に過度の散水をしないこと。
- ・ステーション内および設置場所周辺に殺虫剤を散布しないこと。

3) 定期点検



シロアリの活動を確認するために、ステーション内の餌木を定期的に点検します。シロアリの種類により活動確認までに期間が掛る場合があります。

4) ベイト剤投入



ステーション内のシロアリの餌木摂食を確認してから、はじめてベイト剤を投入します。

5) シロアリを巣ごと絶滅



シロアリが餌と間違えて、ベイト剤を摂取し、巣に持ち運び、数カ月後に巣ごとシロアリが絶滅します。

6) シロアリ再侵入への監視



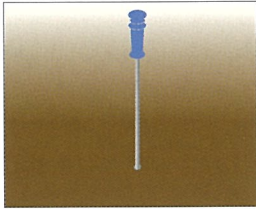
シロアリ駆除後も、近くに生息しているシロアリ集団や羽アリの飛来など新たなシロアリの侵入に備え、定期的にステーションを監視します。シロアリの再侵入が確認された場合、ベイト剤を投入し、駆除します。



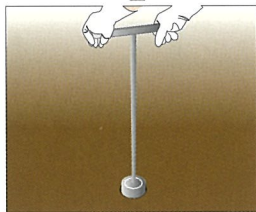
ベイト剤

ディフェンダーⅡの設置方法

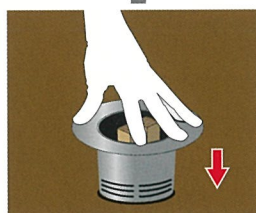
設置地面が**土壌**の場合



配管探査棒などで地下配管の有無を確認してください。

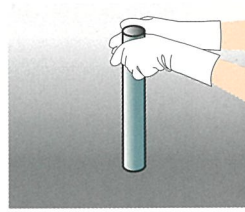


ドリル、穴あけ機、スコップ等でディフェンダーⅡよりもやや深めの穴を掘ってください。

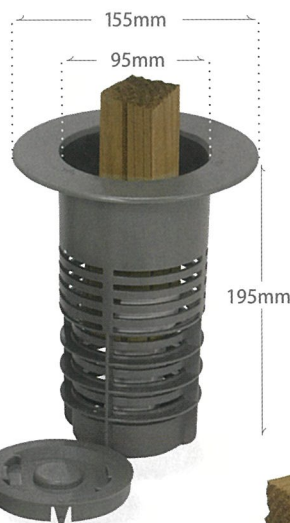


ディフェンダーⅡを設置し、隙間がないように土を埋め戻してください。

設置地面が**コンクリ**の場合



ステーション



餌木



地上設置



ト剤

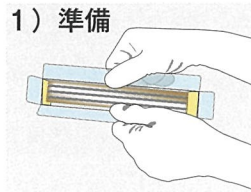


すでに建物内に**蟻道**や**被害**が認められる場合

地上設置型ベイトステーション(AGS)の設置方法

地上設置型ベイトステーション(AGS)は小型容器で、土台、天井、屋外などの被害部に直接、容易に設置できます。また、定期点検もカバーを取るだけで簡単にできるため、シンプルなシステムで確実にシロアリを駆除できます。

1) 準備



カバーを外し、ベイトステーションを開き、4枚の羽を開ける。

2) 霧ふき



両端のスポンジを霧吹きで濡らす。

3) 設置



シロアリに刺激を与えないように、AGSを被害部・蟻道の上へ軽く押さえつけ、羽の部分をテープやガンタッカーなどで固定します。被害部、蟻道に合わせて、羽を折り返したりケースをカットして設置します。

4) カバー・点検

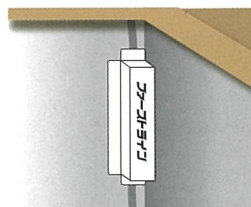


静かにカバーをかぶせます。その後、シロアリの活動を確認するために、カバーを取り外し、定期的に点検します。

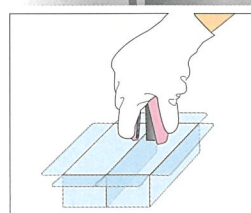


シロアリが餌と間違えて、ベイト剤を摂取し、巣に持ち運び、数カ月後に巣ごとシロアリが絶滅します。

設置例



基礎のコーナーなどに設置する場合は、片側の羽を折り返したりケースをカットして、設置します。



1ヶ所で大量のベイト剤を与える場合は、AGSを並べてご使用ください。その際は、左図のようにホッチキスなどで結合させ、ご使用ください。

コンクリート・アスファルトの場合

配水、排水管、ガス管等の位置を充分に考えて、コンクリートにダイヤモンドカッターで100mmコア抜きをします。

コア抜きした穴から、グリ石等を取り除き、地下配管等を再確認し、ディフェンダーⅡの底が土壌に軽くつく程度に設置します。

穴にディフェンダーⅡを埋め込んでください。

ベイトステーション(AGS)



ファーストライン[®] セット内容

製品ラインアップ	内容	数量
ディフェンダーⅡ(土壌用)	ステーション(5cm角餌木1本)	12 個
	ベイト剤(4枚/1セット)×3セット	1 箱
地上設置型ベイトステーション(AGS)	AGS(ベイト剤4枚/1セット)×3セット	1 箱
ベイト剤	ベイト剤(4枚/1セット)×3セット	1 箱